



Photo: 石狩弁天社

道央圏最古の神社「石狩弁天社」。

鮭の豊漁を願って建てられた、

ぶらっと

歴史探訪



石狩

サメ様

石狩川の主「チョウザメ」を神格化した神様



ガイドさんのココがポイント!



石狩の歴史を物語る貴重な奉納物にもご注目!

石狩弁天社には日本遺産構成文化財に選ばれた笄谷石(しゃくだにいし)製の狛犬や、1856年(安政3)に描かれた大絵馬額等、貴重な品々が納められています。石狩市本町地区へお越しの際は必見です!

SPOT 35

弁天歴史公園

土・日・祝日は「運上屋棟」に観光ガイドが常駐。公園に隣接する、サメ様を祀る300年以上の歴史ある神社(石狩弁天社)も見学しよう。

住所/石狩市弁天町38
電話/石狩観光協会 0133-62-4611 開設期間/4/29~11/3
運上屋の開館時間/8時45分~17時15分



資料館で石狩の歴史・文化を学ぼう!

SPOT 36



いしかり砂丘の風資料館

石狩は缶詰工場発祥の地。缶詰作り体験や石狩川河口地域の自然や歴史を学べます。

住所/石狩市弁天町30-4
電話/0133-62-3711
開館時間/9時半~17時
休館日/火曜(祝日の場合は翌平日)、年末年始 入館料/有料



SPOT 37



旧白鳥家番屋(はまます郷土資料館)

浜益のニシン漁の歴史や漁具を展示し、当時の番屋の暮らしを見学できます。

住所/石狩市浜益区浜益77-1
電話/0133-79-2402
開館時間/5~10月:10~16時
休館日/火曜(祝日の場合は翌平日)、冬期間(11~4月)
入館料/有料

明治時代から、

石狩を見守り続ける灯台。



観光協会職員ココがポイント!



石狩のシンボル 現存する道内最古の灯台。

1957年(昭和32)に映画「喜びも悲しみも幾年月」のロケ地となった際に白一色だった灯台は色彩効果を高めるために、赤白の縞模様塗りに塗り替えられました。青空や雪景色にも映える灯台の風景は石狩を象徴する風景の一つです。

SPOT 38

石狩灯台

はまなすの丘公園の入口に建つ高さ約13.5メートルの灯台。1892年(明治25)の開設から100年以上の歴史があり、現存する北海道最古の灯台です。光は24キロメートル先まで届き、今も石狩湾を航行する船の安全を守っています。

住所/石狩市浜町



石狩市の魅力をもっと詳しく知りたい方へ

石狩の見どころをご案内!

「いしかりガイドボランティアの会」

歴史的、文化的に貴重なスポットが多く、特に日本海と石狩川に育まれた豊かな自然が魅力の石狩市。観光ガイドでは、私たちの自慢のスポットをご紹介します。

市民観光案内所 場所/弁天歴史公園運上屋棟
期間/4月29日~11月3日(10~16時)土・日・祝日
料金/無料 ※別途ガイドツアーの受け入れを実施(有料)
お申込み・お問合せ 石狩観光協会 電話/0133-62-4611

